

事務事業評価シート 令和 1 年度事後評価・決算

令和 3 年 2 月 22 日時点

事務事業名		3100 企画事務費	予算科目	会計	款	項	目	所管課	企画政策課	担当班	企画調整班
施策体系	基本施策	25 広報・広聴・情報公開の充実	根拠法令	一般	2	1	7			☒ 主な事業	
	施策の展開	48 広報広聴活動の推進	戦略事業	226 地区懇談会						☐ 国土強靱化地域計画	
	施策の展開		戦略事業							☐ 新市建設計画	
										☐ 定住自立圏構想	
										☐ 主要事業	

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 17 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	・市長が市内各地区（旭市地区2か所並びに海上地区、飯岡地区及び干潟地区それぞれ1か所の計5か所）に赴き、直接市民と話し合い地域の課題を伺うとともに、新しいまちづくりや地域の将来に対する意見・提案をいただく。 ⇒市長協議の結果、令和元年度より地区懇談会を地域意見交換会と改め、開催数を2回（海上公民館と総合体育館で1回ずつ）に減らし、市民の参加を区の役員等に絞り、一般職員の参加をなくした。
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
平成17年の合併後、広く各地区の要望・意見等を聞きたいという意図で始まった。	新しいまちづくりや地域の将来に対する意見・提案というよりは、個別の要望等を発言する場となっている。
	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
	市民から休日開催についての要望が寄せられた。⇒H26年に実施。以降実施していない。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細（1年度の決算）	単位：千円
1. 需用費	2. 消耗品・燃料費
2. 役務費	13. 通信運搬費
3. 委託料	手話通訳委託料
4. 備品購入費	
② 特定財源の内訳（1年度の決算）	単位：千円
1. 国庫支出金	
2. 都道府県支出金	
3. 地方債	
4. その他	

事業費	単位	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	1年度（決算）	2年度（予算）
1. 需用費	千円		1	19	2	
2. 役務費	千円	73	70	70	13	13
3. 委託料	千円	16	15	13		20
4. 備品購入費	千円					
事業費計（A）	千円	89	86	102	15	33
1. 国庫支出金	千円					
2. 都道府県支出金	千円					
3. 地方債	千円					
4. その他	千円					
5. 一般財源	千円	89	86	102	15	33

前年度増減理由 市長協議の結果、地区懇談会を地域意見交換会と改め、開催数を2回（海上公民館と総合体育館で1回ずつ）に減らし、市民の参加を区の役員等に絞り、一般職員の参加をなくした。そのため、需用費、開催通知の郵送料、手話通訳の委託料が減った。

従事職員数 常時 1 人 最大 9 人 × 2 日 = 延べ 18 人

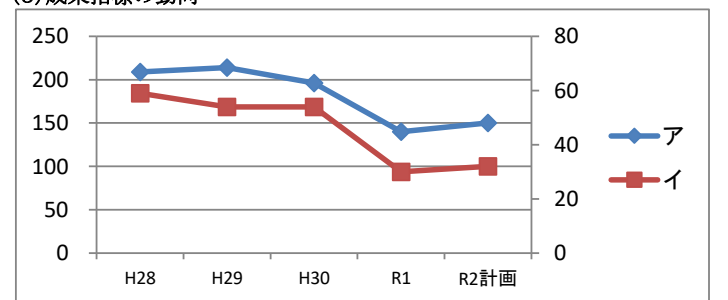
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	28年度（実績）	29年度（実績）	30年度（実績）	1年度（実績）	2年度（計画）
	1年度実績（1年度に行った主な活動）							
	総合体育館サブアリーナ、海上公民館ホールの2か所で開催した。公共交通の再編、第2期総合戦略など、市の施策について説明した。また、意見交換会により、区の代表者より質問・要望・意見をいただいた。	ア 開催回数（箇所数）	回	5	5	5	2	2
		イ						
目的	② 対象・意図（対象がどのような状態になるのか）	④ 成果指標名	単位	28年度（実績）	29年度（実績）	30年度（実績）	1年度（実績）	2年度（計画）
対象意図	区の代表者	ア 市民の参加人数	人	209	214	196	140	150
対象意図	多くの市民が参加し、自らの要望・意見等を述べる。	イ 要望・意見数（市民が積極的に市政に参画・協働する。）	件	59	54	54	30	32

(4) 事務事業優先度評価の結果

①成果優先度評価結果				②コスト削減優先度評価結果				
		成果向上余地			コスト比率			
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3	
施策貢献度	大きい				成果優先度 評価結果	①		
	普通			⑦		②		
	小さい					③		
				④⑤				
				⑥				
				⑦⑧		(7)		
				⑨				

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐完了☐順調☒概ね順調☐停滞☐実施困難											
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)												
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上	☐ 向上 ☐ 横ばい ☒ 低下	成果動向	比較	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度
	【コメント】 (低下の場合、その理由)	成果指標イ		数値増＝成果向上	☐ 向上 ☐ 横ばい ☒ 低下	28年度		29年度	30年度	1年度	2計画		
		市長協議により開催回数・参加者等の開催内容を改めたことから、成果指標は低下した。					ア	△41	5	△18	△56	10	
							イ	△32	△5	0	△24	2	
	③ 今年度取組事項 (2年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容			今後の方向性	☐ 拡大 ☐ 縮小	☐ 現状維持 ☐ 廃止・休止	☐ 見直し ☒ その他(市長協議の結果による)				
			7月初旬に市長協議を行い、開催の有無を決定次第、取組事項を確定					地区懇談会を地域意見交換会に変え、開催回数を2回、参加者を区の役員等に絞ったところ、建設的な意見が多く挙がるようになり、事務量も減少した。当面はこの形式で継続する。					